

目次

1. 工作機械統計・産業動向	
◆米国工作機械受注統計(3月) ……………	1
◆米国工作機械受注統計(地域別) ……………	2
◆台湾工作機械輸出入統計(2010年1月) ……………	2
◆米国工作機械貿易統計(3月) ……………	3
◆韓国工作機械主要統計 (切削型・2010年2月) ……………	3
2. 主要国・地域経済動向	
◆米国：製造業設備稼働率は増加(3月) ……	5
◆米国：製造業部門、9ヵ月連続で成長 (4月) ……………	5
◆欧州：EU主要国製造業景気動向指数 (D.I.)と資本財生産月次推移(4月) ……	6
◆独工作機械業界、アジア勢の追い上げに 危機感 ……………	6
◆独機械業界、3月受注は26%増に ……	6
◆イタリア：2010年第1四半期の工作機械 受注は前年比15.2%増 ……………	7
3. 工作機械関連企業動向	
◆米工作機械Hardingeのスイス子会社が 英同業を買収 ……………	7
◆米国：Hardinge社、2010年第1四半期の 決算を発表 ……………	7
◆MAG Industrial Automation Systems社、 再生可能エネルギー分野を開拓へ ……	7
◆ブラジル：Romi社、2010年第1四半期 業績を発表 ……………	8
4. その他	
◆ユーザー関連トピックス ……………	8
5. 日工会外需状況(4月) ……………	11
6. お知らせ ……………	13

1. 工作機械統計・産業動向

◆米国工作機械受注統計(3月)

AMT(米国製造技術工業協会)及びAMTDA(米国工作機械販売協会)発表の受注統計(USMTC)によると、2010年3月の米国切削型工作機械受注は、2億3,424万ドルで前月比51.1%増、前年同月比52.9%増となった。

AMTDAのBorden専務理事は「製造業受注3月の増加は回復が加速していることの表れである。この数字は、銀行の貸付が厳しく、国会は製造業者のために特別償却税制やR&Dクレジットを再採択するなどの支援を全く行っていないということを考えさせられるものである。」と述べた。

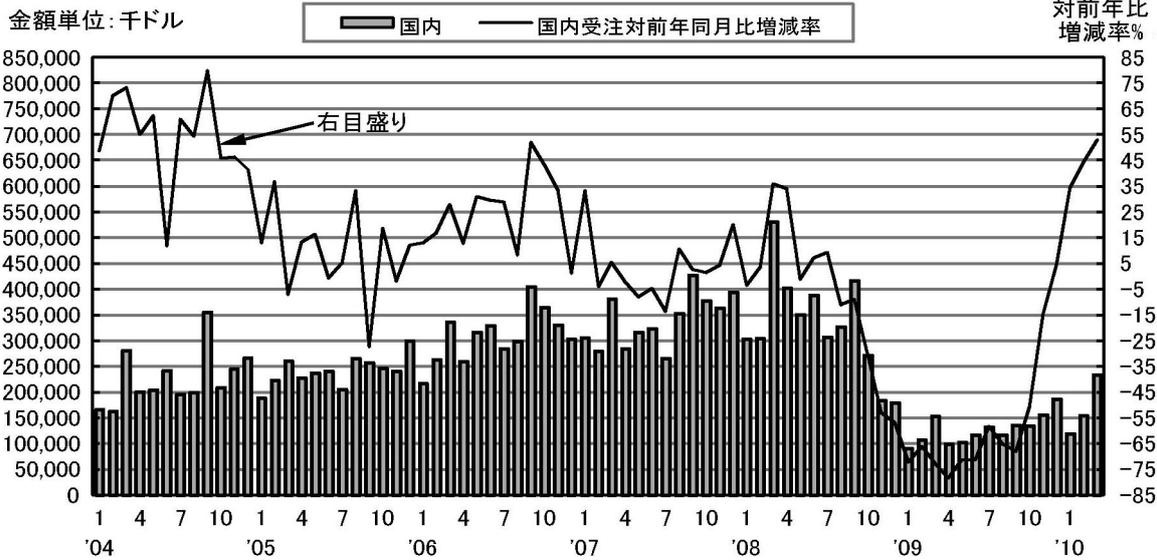
(USMTCレポート 5月10日付)

米国工作機械(切削型)受注統計

(金額単位：千ドル)

年 月	受 注	
	台 数	金 額
2009年1月	694	91,390
2月	780	107,769
3月	963	153,364
4月	855	99,162
5月	814	103,608
6月	853	117,771
7月	907	131,996
8月	806	117,583
9月	920	136,133
10月	993	134,932
11月	957	156,807
12月	1,226	187,293
2009年累計	10,768	1,537,808
2010年1月	769	119,267
2月	895	154,975
3月	1,302	234,239
2010年累計	2,966	508,481

工作機械受注の月次推移(米国)



◆米国工作機械受注統計(地域別)

(単位：百万ドル)

地域別		2010年3月(P)	2010年2月	前月比(%)	前年同月	前年同月比(%)	2010年累計(P)	2009年累計(R)	前年同期比(%)
全米	切削型	234.24	154.97	51.1	153.23	52.9	508.48	351.90	44.5
	成形型	23.76	8.24	188.4	19.36	22.7	40.05	58.31	-31.3
	計	258.00	163.21	58.1	172.59	49.5	548.53	410.22	33.7
北東部	切削型	33.10	24.72	33.9	29.25	13.2	81.78	69.00	18.5
	成形型	2.48	1.92	29.1	2.02	22.6	5.54	9.48	-41.5
	計	35.58	26.64	33.6	31.27	13.8	87.32	78.47	11.3
南部	切削型	36.81	18.04	104.0	15.72	134.1	81.62	45.67	78.7
	成形型	7.23	0.86	738.0	3.72	94.4	9.74	9.67	0.7
	計	44.03	18.90	132.9	19.44	126.5	91.36	55.34	65.1
中西部	切削型	72.38	40.17	80.2	48.33	49.8	146.60	102.23	43.4
	成形型	5.02	2.32	116.6	5.71	-12.1	9.25	19.35	-52.2
	計	77.40	42.49	82.1	54.04	43.2	155.85	121.58	28.2
中部	切削型	59.13	50.18	17.8	42.41	39.4	132.74	91.33	45.3
	成形型	4.81	2.94	63.8	3.99	20.6	10.63	10.76	-1.2
	計	63.94	53.11	20.4	46.40	37.8	143.37	102.09	40.4
西部	切削型	32.83	21.86	50.2	17.52	87.4	65.73	43.68	50.5
	成形型	4.23	0.21	*	3.93	7.7	4.89	9.06	-46.0
	計	37.06	22.07	67.9	21.44	72.8	70.62	52.74	33.9

P：暫定値 R：改定値
四捨五入により合計値及び%は一致しない場合がある。*：1,000%以上
出所：USMTC

◆台湾工作機械輸出入統計(2010年1月)

台湾工作機械機種別輸出入統計(2010年1月)

(単位：千USドル)

機種名	輸出			輸入		
	2010年1月	2009年1月	前年比(%)	2010年1月	2009年1月	前年比(%)
放電加工機	10,076	4,806	109.7	21,868	6,020	263.3
マシニングセンタ	52,249	38,616	35.3	2,311	2,197	5.2
旋盤	31,676	41,591	-23.8	3,677	1,348	172.8
ボール盤・フライス盤・中ぐり盤	19,386	16,808	15.3	3,336	1,038	221.4
研削盤	12,540	5,826	115.2	3,096	2,675	15.7
歯切り盤・歯車機械	11,260	9,898	13.8	4,021	1,671	140.6
切削型合計	137,187	117,545	16.7	38,309	14,949	156.3

出所：海関進出口統計月報

台湾工作機械国別輸出入統計(2010年1月)

(単位：千USドル)

輸 出					輸 入				
順位	国 別	2010年1月	2009年1月	前年比(%)	順位	国 別	2010年1月	2009年1月	前年比(%)
1	中国・香港	76,503	34,766	120.1	1	日 本	23,245	9,399	147.3
2	米 国	10,063	18,212	-44.7	2	米 国	3,978	815	388.1
3	タ イ	9,607	7,272	32.1	3	韓 国	2,609	681	283.1
4	イ ン ド	7,139	5,356	33.3	4	中国・香港	2,568	1,869	37.4
5	ブラジル	6,679	6,340	5.3	5	ド イ ツ	2,157	4,053	-46.8
6	マレーシア	5,536	2,585	114.2	6	ス イ ス	1,113	1,486	-25.1
7	トルコ そ の 他	5,445 56,927	4,450 75,471	22.4 -24.6	7	イ タ リ ア そ の 他	623 7,535	153 3,295	307.2 128.7
	合 計	177,899	154,452	15.2		合 計	43,828	21,751	101.5

出所：海関進出口統計月報

◆米国工作機械貿易統計(3月)

- 2010年3月の米国工作機械輸出額(切削型)は、前月比3.7%増の111.1百万ドルであった。

2010年1～3月の輸出累計は、前年同期比12.5%増で、301.0百万ドルであった。

- 2010年3月の米国工作機械輸入額(切削型)は、前月比21.9%増で145.3百万ドルであった。

2010年1～3月の輸入累計は、前年同期比34.0%減で386.1百万ドルであった。

		2010年 3 月	2010年 2 月	3月/2月 増減率 (%)	2010年 1-3月	2009年 1-3月	前年比 増減率 (%)
切削型	輸 出	111.1	107.2	3.7	301.0	267.6	12.5
	輸 入	145.3	119.3	21.9	386.1	585.1	(34.0)
	収 支	(34.2)	(12.0)	183.9	(85.1)	(317.5)	(73.2)
成型型	輸 出	60.3	48.4	24.5	152.1	152.8	(0.4)
	輸 入	42.6	29.4	45.0	111.7	178.8	(37.5)
	収 支	17.7	19.1	(7.1)	40.4	(26.0)	(255.5)
合 計	輸 出	171.4	155.7	10.1	453.1	420.4	7.8
	輸 入	187.9	148.6	26.4	497.8	763.9	(34.8)
	収 支	(16.5)	7.0	(334.1)	(44.7)	(343.5)	(87.0)
NC機	輸 出	69.7	74.6	(6.5)	195.4	167.2	16.8
	輸 入	125.3	99.7	25.6	322.2	511.2	(37.0)
	収 支	(55.6)	(25.2)	120.9	(126.7)	(343.9)	(63.2)

(注) ()はマイナスを表す。四捨五入により、合計値と一致しない場合がある。

出所：AMT - The Association for Manufacturing Technology

(AMT Report 2010年5月12日付)

◆韓国工作機械主要統計(切削型・2010年2月)

年	受注(単位:億ウォン)		生産(単位:億ウォン)		輸出(単位:百万ドル)		輸入(単位:百万ドル)	
	金 額	前年比						
2007	21,660	3.6	20,346	8.2	1,375	12.6	1,037	-55.6
2008	23,787	9.8	21,581	6.1	1,405	2.2	1,037	0
2009	16,656	-30.3	15,633	-27.6	862	-38.6	806	-25.4
09.1Q	3,623	-37.0	3,846	-21.4	234	-28.7	183	-33.7
2Q	3,616	-47.4	3,796	-31.6	197	-48.7	183	-41.5
3Q	3,884	-38.5	2,972	-52.0	186	-50.4	203	-29.0
4Q	5,533	14.2	5,019	1.5	245	-22.7	237	46.3
2009. 2	1,160	-35.5	1,128	-27.1	81	-22.1	40	-44.4
3	1,208	-41.4	1,328	-30.6	77	-37.9	82	-9.9
4	1,282	-44.8	1,314	-28.9	80	-38.9	56	-54.5
5	1,081	-51.7	1,074	-37.5	54	-58.1	55	-31.3
6	1,253	-45.9	1,408	-29.0	63	-49.2	72	-34.5
7	1,000	-58.2	968	-54.2	62	-56.9	69	-42.5
8	1,038	-40.4	857	-57.4	55	-51.8	62	-29.5
9	1,846	-15.2	1,147	-44.6	69	-41.5	72	-7.7
10	1,951	5.5	1,193	-30.6	50	-56.9	62	-18.4
11	1,518	-1.9	1,715	1.1	111	18.1	81	42.1
12	2,064	42.6	2,111	38.2	84	-21.5	94	28.8
2010. 1	1,806	43.9	1,730	24.5	59	-23.7	77	26.2
2	1,835	58.2	1,539	36.4	57	-29.6	63	57.5

出所：受注&生産 韓国工作機械工業協会/輸出入 韓国通関統計

韓国工作機械業種別受注(2010年1～2月)

(単位：百万ウォン)

	2010.1	2010.2	前月比(%)	2009.1-2	2010.1-2	前年比(%)
鉄鋼・非鉄金属	9,479	12,672	33.7	5,757	22,151	284.8
金属製品	14,172	13,419	-5.3	8,358	27,591	230.1
一般機械	17,578	17,664	0.5	18,002	35,242	95.8
電気機械	22,299	20,363	-8.7	10,485	42,662	306.9
自動車	30,357	58,442	92.5	27,529	88,799	222.6
造船・輸送用機械	2,673	8,575	220.8	32,358	11,248	-65.2
精密機械	3,972	4,559	14.8	4,968	8,531	71.7
その他製造業	6,211	6,780	9.2	4,726	12,991	174.9
官公需・学校	1,065	1,247	17.1	260	2,312	789.2
商社・代理店	4,126	4,750	15.1	1,826	8,876	386.1
その他需要部門	195	174	-10.8	80	369	361.3
内需	112,127	148,645	32.6	114,349	260,772	128.0
外需	96,600	68,864	-28.7	165,711	165,464	-0.1
受注累計	208,727	217,509	4.2	280,060	426,236	52.2

出所：韓国工作機械工業協会

韓国工作機械機種別受注(2010年1～2月)

(単位：百万ウォン)

	2010.1	2010.2	前月比(%)	2009.1-2	2010.1-2	前年比(%)
NC旋盤	85,554	77,112	2.0	112,182	162,666	45.0
NCフライス盤	356	1,805	-9.9	1,629	2,161	32.7
マシニングセンタ	63,195	67,097	407.0	74,597	130,292	74.7
NC放電加工機	440	3,773	6.2	876	4,213	380.9
小計	13,627	13,140	757.5	223,231	337,447	51.2
旋盤	2,346	3,681	-3.6	2,104	6,027	186.5
フライス盤	2,586	3,207	56.9	3,362	5,793	72.3
ボール盤	718	935	24.0	1,312	1,653	26.0
研削盤	6,472	4,380	30.2	3,529	10,852	207.5
専用機	-	-	-	381	-	-100.0
小計	13,627	13,627	0.0	18,215	26,767	47.0
金属切削形計	180,651	186,563	1.6	241,446	364,214	50.8

出所：韓国工作機械工業協会

韓国工作機械機種別生産(2010年1～2月)

(単位：百万ウォン)

	2010.1	2010.2	前月比(%)	2009.1-2	2010.1-2	前年比(%)
NC旋盤	80,674	70,381	-12.8	127,087	151,055	18.9
NCフライス盤	433	5,046	1,065.40	6,516	5,479	-15.9
マシニングセンタ	57,232	47,535	-16.9	78,724	104,767	33.1
NC放電加工機	1,260	332	-73.7	650	1,592	144.9
NC中ぐり盤	7,522	3,930	-47.8	4,095	11,452	179.7
NC合計	154,154	148,772	-3.5	254,406	302,926	19.1
旋盤	1,473	1,404	-4.7	1,995	2,877	44.2
フライス盤	2,178	2,476	13.7	2,574	4,654	80.8
ボール盤	67	138	106.0	450	205	-54.4
研削盤	1,453	1,098	-24.4	1,749	2,551	45.9
専用機	13,655	-	-100.0	2,196	13,655	521.8
非NC合計	18,879	5,167	-72.6	9,554	24,046	151.7
金属切削型合計	173,033	153,939	-11.0	263,960	326,972	23.9

出所：韓国工作機械工業協会

韓国工作機械機種別出荷(2010年1～2月)

(単位：百万ウォン)

	2010.1	2010.2	前月比(%)	2009.1-2	2010.1-2	前年比(%)
NC旋盤	60,295	74,444	23.5	124,298	134,739	8.4
NCフライス盤	308	5,025	1,531.5	6,654	5,333	-19.9
マシニングセンタ	48,853	38,171	-21.9	82,264	87,024	5.8
NC放電加工機	1,415	332	-76.5	510	1,747	242.5
NC中ぐり盤	3,772	3,037	-19.5	4,295	6,809	58.5
NC合計	122,193	143,416	17.4	254,567	265,609	4.3
旋盤	1,828	2,046	11.9	3,526	3,874	9.9
フライス盤	3,139	3,169	1.0	3,024	6,308	108.6
ボール盤	168	197	17.3	530	365	-31.1
研削盤	1,607	795	-50.5	2,040	2,402	17.7
専用機	13,728	225	-98.4	1,654	13,953	743.6
非NC合計	20,911	6,765	-67.6	11,521	27,676	140.2
金属切削型合計	143,104	150,181	4.9	266,088	293,285	10.2

出所：韓国工作機械工業協会 *データは全て原文通り

2. 主要国・地域経済動向

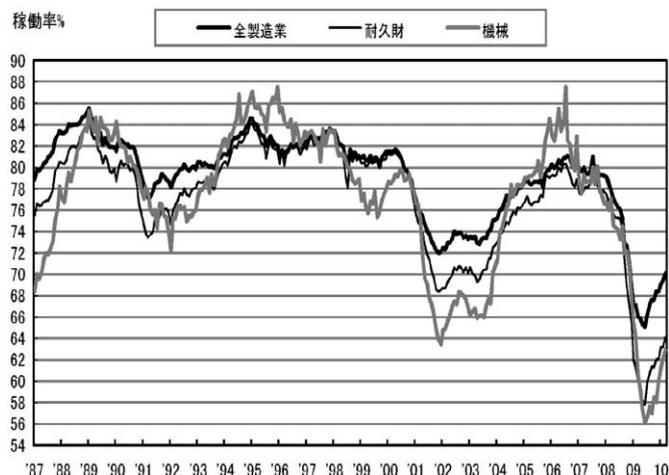
◆米国：製造業設備稼働率は増加(3月)

2010年3月の設備稼働率（速報値）は、全製造業で70.0%、耐久財製造業で64.1%、機械製造業で62.9%となった。

前月比で見ると、全製造業では0.6ポイント、耐久財製造業では0.9ポイント、機械製造業では0.8ポイント増加している。

一方、前年同月比で見ると全製造業では4.0ポイント増加している。

米国製造業の設備稼働率月次推移



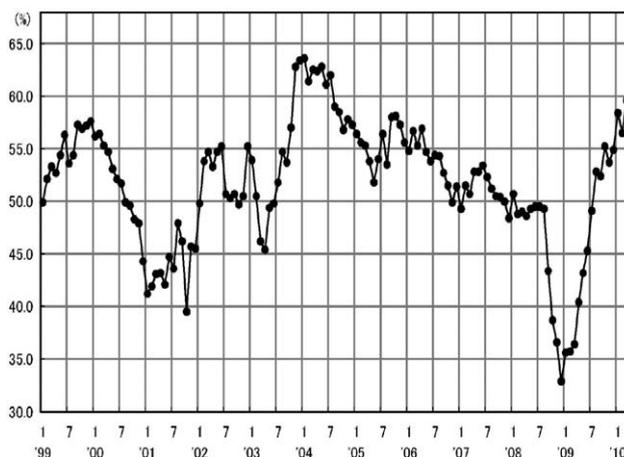
(FRB Statistical Release G.17(419)/4月15日付)

◆米国：製造業部門、9ヵ月連続で成長(4月)

米サプライ・マネジメント協会（ISM）の購買管理指数（PMI：製造業350社以上のアンケート調査に基づく月次景況指数）によると、2010年4月のISM指数（PMI）は60.4%と景況感の分かれ目である50%を上回り、製造業部門の活動も9ヵ月連続で成長した。一方、経済全体の動向はPMIが上昇・下降の分岐点41.2%を12ヵ月連続で上回り、経済成長を遂げた。

4月の調査結果について、ISMは次のようにコメントしている。「製造業部門は4月に9ヵ月連続で成長した。その成長のテンポは2004年6月以降最速である。新規受注は過去10ヵ月平均が61.6%で勢いがあり、雇用指数も5ヵ月連続で改善している」

ISM 指数の推移



なお、4月の製造業の景況感について、対象18業種中、次の17業種が「企業活動を拡大した」と回答している。アパレル・皮革製品、非金属鉱産物、木材製品、石油・石炭製品、プラスチック・ゴム製品、金属製品、電気機器・家電製品・部品、雑貨、輸送用機械、機械類、コンピューター・電子製品、鉄鋼・非鉄金属、家具類、化学製品、印刷・関連サービス、紙製品、食品・飲料・たばこ製品。

ISMが発表した4月の主要個別指数の前月比変動傾向は以下の通り。

項目	2010年4月指数	2010年3月指数	備考
ISM 指数 (PMI)	60.4	59.6	3月比0.8ポイント上昇。製造業は9ヵ月連続成長。4月のPMI (60.4%) は年率換算実質GDP成長率6.2%に相当。
生産	66.9	61.1	3月比5.8ポイント上昇。拡大の基準である50.4%を11ヵ月連続で上回った。15業種が成長を報告した。
新規受注	65.7	61.5	3月比4.2ポイント上昇。10ヵ月連続で増加した。17業種が成長を報告した。
受注残高 (季節調整なし)	57.5	58.0	前月比0.5ポイント低下。10業種が増加を報告した。
サプライヤー納期	61.3	64.9	3月比3.6ポイント低下。12業種が長期化を報告した。
在庫	49.4	55.3	前月比5.9ポイント低下。5業種が在庫増を報告した。
雇用	58.5	55.1	3月比3.4ポイント上昇。12業種が増加を報告した。
仕入れ価格	78.0	75.0	前月比3ポイント上昇。16業種が上昇を報告した。
輸出受注	61.0	61.5	前月比0.5ポイント低下。10ヵ月連続の増加。13業種が増加を報告。
原材料輸入	58.0	57.0	前月比1ポイント上昇。8ヵ月連続の増加。9業種が増加を報告した。

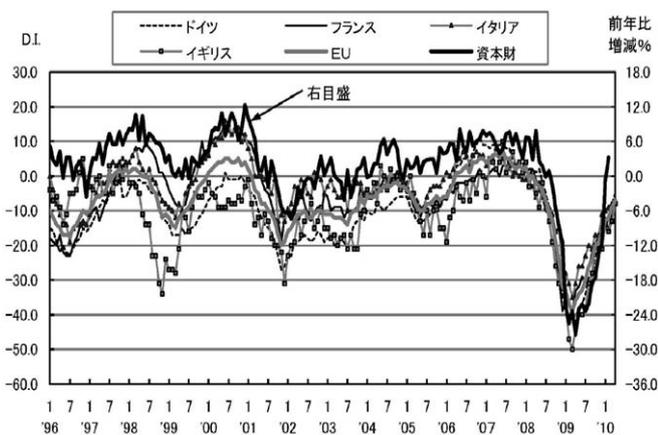
(ISM Manufacturing Report on Business 2010年5月3日付)

◆欧州：EU主要国製造業景気動向指数(D.I.)と資本財生産月次推移(4月)

欧州委員会の発表した2010年4月のEU主要国製造業景気動向指数(D.I.)によると、EU全体では2ポイント上昇している。国別では、イギリスが5ポイント、ドイツとフランスが3ポイント、イタリアが1ポイント夫々上昇している。

一方、ユーロ圏の資本財生産については、2010年2月は前年同月比で3.2%増となった。なお、2010年3及び4月の数字は未発表である。

EU主要国製造業景気動向指数(D.I.)と資本財生産月次推移



(欧州委員会 Monthly Survey of Manufacturing Industry 及び Industrial Production 調査)

◆独工作機械業界、アジア勢の追い上げに危機感

独工作機械業界がアジア勢の追い上げに危機感を募らせている。アーヘン工科大学 (RWTH) 工作機械製造研究室 (WZL) のギュンター・シュー教授は、需要低迷が続くなかでアジア企業との価格競争にさらされるドイツの工作機械メーカーを「3つ星ホテルに顧客をとられた5つ星ホテル」に例えた。ドイツ工作機械・鋳造製造連合会 (VDWF) によると、アジアの人件費はドイツより最大3分の1安い。製品品質も年々向上している。機械専門サイト「MM マシーネンマルクト」が報じた。

ドイツ企業にとって特に大きな脅威となってい

るのは、この10年で製品面のほかブランド戦略でも大きく飛躍した韓国メーカー。Doosan Infracore、Hankook、Hwacheon、Taegutecといったメーカーはドイツの金属加工業界でも顧客数を着実に増やしている。Hankookは2月末にデュッセルドルフで開催された「国際金属加工機械・技術見本市 (METAV 2010)」に250トンの巨大旋盤を展示し、訪問者の関心を集めた。この旋盤は見本市の終了後に独フランジメーカー Kiel Flanschen (ジーゲン) に納入された。Hwacheonの旋盤をドイツで販売する Hommel Gruppe (ポーフム) によると、国内の販売先は700社を超えるという。韓国製は◇品質が高い。◇汎用機の納入期間が50日以内と短い——ことも魅力となっている。(MaschinenMarkt 2010年3月29日付)

◆独機械業界、3月受注は26%増に

ドイツ機械工業連盟 (VDMA) が3月31日発表した加盟企業の2010年2月の受注高は前年同月比で26%増加した。比較対象の09年2月の受注水準が極めて低かったほか、顧客産業で設備投資が再び活発化してきたことが大きい。受注残高は昨年10月の4.6ヵ月から4.9ヵ月にまで回復した。

受注は特に国外が好調で、32%の伸びを記録した。非ユーロ圏からの需要が強く、特に中国、ブラジルなどの新興国がけん引しているという。国内需要の増加幅は16%だった。

大型受注による統計上のブレが少ない3ヵ月単位の比較でも09年12月～10年2月は前年同期を10%上回った。国外が17%増と好調で、国内(3%減)の不振が相殺された格好。29ある部門のうち20の部門でプラス成長を確保したという。

特に好調なのは経済危機の影響を早い段階で受けた繊維機械や鋳造機械などの分野。自動車産業との関係が深い工作機械や樹脂加工機械、ロボット、オートメーション化機器の需要も国外を中心に力強く回復しているという。

(MaschinenMarkt 2010年3月31日付)

◆イタリア：2010年第1四半期の工作機械受注は前年比15.2%増

イタリア工作機械工業会（UCIMU）によれば、本年第1四半期の工作機械受注指数は94.8（2005年＝100）で国内・海外市況の回復を反映して6四半期振りに前年比プラスに転じ、2009年同期比15.2%増となった。海外受注指数は106.9で前年比18.5%増、2005年の受注水準にまで戻した。国内受注指数は70.1で前年比10%増となった。

UCIMUのGiancarlo Losma専務理事は昨年11月来の海外市場を中心にした需要回復を認めながら、国内工作機械需要の回復を確かなものにするため、今年の6月30日に期限切れとなる新規投資に対する税制優遇措置の本年末までの延長を政府に要請している。

なおUCIMUが推進し、今年10月にミラノで開催する「BI-MU 2010」展示会には内外工作機械メーカーの関心の高さを反映して、既に約1千社から参加申込みが寄せられている。

(UCIMU プレスリリース 2010年4月21日付)

3. 工作機械関連企業動向

◆米工作機械 Hardinge のスイス子会社が英同業を買収

米工作機械大手 Hardinge のスイス子会社 L. Kellenberger（ザンクトガレン）が、英同業 Precision Technologies Group の子会社 Jones & Shipman（英レスター）を4月1日付で買収した。取引金額は不明。Jones & Shipman は100年の歴史を持つ平面・円筒研削盤メーカー。従業員数は65人、年商は約65スイスフランに上る。L.Kellenberger は同社の買収により研削盤事業を強化する。

(MaschinenMarkt 2010年4月6日付)

◆米国：Hardinge社、2010年第1四半期の決算を発表

精密CNC旋盤、研削盤、工作物保持装置などの

設計、製造、販売に従事する Hardinge Inc. 社の2010年第1四半期の決算は、純売上高が前年同期比17%減の4,320万ドル、一方、新規受注は前年75%増の5,750万ドルで、連続4四半期、前年比増となった。

本年第1四半期の地域別売上高は、北米1,155万ドル、前年比28%減；欧州1,242万ドル、49%減；アジアその他地域1,920万ドル、64%増だった。

また、地域別受注高は、北米1,282万ドル、3%増；欧州1,842万ドル、66%増；アジアその他地域2,624万ドル、184%増となっている。

本年第1四半期の受注高は前年同期実績を2,470万ドル、75%上回ったが、アジアその他地域の需要拡大が大きく寄与している。欧州受注の改善はトルコ、ドイツ、イタリアからの特殊研削盤受注によるものである。

「第1四半期の受注大幅増は大変心強いですが、これはアジアの経済成長と極めて強い工作機械需要を反映している」、「本年第2四半期の受注も前年比大幅な伸びになると期待しているが、この4月に中国の家庭用電化製品メーカーから成約した1,230万ドルの契約も第2四半期の受注実績になる」と Hardinge 社の Richard L. Simons 社長兼 CEO は語っている。

同社は第2四半期の受注高を6,000-6,500万ドル、売上高を5,700-6,000万ドルと予想している。

なお、Hardinge 社の2010年第1四半期の純損失は、前年同期の540万ドルとほぼ同水準の520万ドルだった。

(Hardinge 社プレスリリース 2010年5月6日付)

◆MAG Industrial Automation Systems 社、再生可能エネルギー分野を開拓へ

グローバルな工作機械メーカー、MAG Industrial Automation Systems 社はソーラーパネル、風力タービン部品のメーカーを販売目標とする新事業部門を立ち上げている。

MAG 社の再生可能エネルギー事業は、スイスのシャフハウゼンと米国ケンタッキー州ヘブロンを

本拠とし、欧州/アジア地域を代表するのはDr. Siegfried Schmalzried、南北アメリカ地域はJose Jones氏が代表する。

MAG社は工作機械の多数のブランドを抱える持株会社である。諸ブランドには、Cincinnati、Cross Hüller、Fadal、Giddings & Lewis、Hüller Hille、Witzig & Frank、Hessapp、Ex-Cell-O、Honsberg、Boehringerなどがある。

「過去数ヶ月間で3,000万ドルの契約を獲得した。これはターゲットとしている市場の約30%を占める。再生エネルギー事業が年間売上高の10%を構成する当社の目標に向かっている」とJones氏は言う。

「この事業部門は新規であるが、MAG社自体はすでに再生エネルギー分野に確固たる地位を築いている」とJones氏は述べている。

MAG社によると、過去5年間にソーラーパネルの自動生産ライン30基以上を世界に供給している。

MAG社は1980年代に航空宇宙業界向けに複合材料加工自動技術を開発し、現在、量産用風力ハブ加工セル、炭素繊維製タービンブレードの開発を目的としてミシガン州からの補助金700万ドルを分け合っている。

(American Machinist 電子版 2010年5月5日付)

◆ブラジル：Romi社、2010年第1四半期業績を発表

工作機械、プラスチック成形機械、鋳鉄部品の大手メーカー、Industrias Romi S.A.社の2010年第1四半期連結売上高は、前年同期の7,576万リアルを91.5%上回る1億4,513万リアルとなった。

2010年第1四半期の純利益は、前年同期の993万リアルを287%上回り1,857万リアルとなった。

部門別売上高は工作機械が、前年同期比104.4%増の1億290万リアルであった。工作機械部門の2010年第1四半期の販売台数は、前年同期の246台から113.8%増加して526台であった。対前期比を見ると524台と安定して来ているのが伺える。

国内顧客の主要産業は、機械サービス、自動車、工業専門学校、ツーリング、機械及び備品、油圧、鋳物産業であった。

2010年第1四半期の新規受注は、前年同期を199.5%上回る1億5,819万リアルでこれは、前年同期は経済危機の影響を受けたことからの結果であった。受注の部門別内訳は工作機械が前年同期比176.4%増の9,408万リアル、プラスチック機械が同178.0%増の4,214万リアル、鋳鉄部品が同506.7%増の2,197万リアルであった。

(Romi社プレスリリース 2010年4月27日付)

4. その他 ◆ユーザー関連トピックス

印EVメーカーのレヴァ、スロバキア工場建設を検討

インドの電気自動車(EV)メーカー、レヴァがスロバキアに工場を建設することを検討している。ラジオ・スロバキアがこのほど伝えたところによると、6,000万ユーロを投じて年産3万台の工場を開設する計画で、雇用規模で1,000人を見込んでいる。

工場の建設地は未定だが、ラジオ・スロバキアによると北西部のトレンチーンとバーノフツェ・ナド・ベブラヴォウ(Banovce nad Bebravou)が有力視されている。なお、バーノフツェ・ナド・ベブラヴォウには、印商用車大手ヴェクトラの子会社で、トラック用車軸メーカーのタナックス(Tanax)の本社がある。

バンガロールに本拠を置くレヴァは1994年に印マイニ・グループと米国のAEV-LLCによる合弁事業として設立された。2001年にインドで初となるEVを発売し、欧州を中心に24ヵ国に輸出している。(Dow Jones 2010年3月23日付)

独レップレ、工作機械部門などを分離へ

独自動車部品・機械メーカーのレップレ(ハイルブロン)は3月29日、リストラ計画を発表した。

プレス加工とプラントエンジニアリング事業に経営資源を集中し、工作機械製造部門とサービス子会社を分離、売却する。今回のリストラによって最大700人の従業員が影響を受ける見通した。

レップレは自動車市場低迷の影響を受けて受注が激減した。業績悪化を受けて国内で250人を整理したほか、国外子会社を中心に周辺事業の売却を進めている。独業界紙『アウトモビール・インドルストリー』によると、従業員数は過去1年で4,200人から2,400人に半減した。

レップレが発表した再建計画によると、プレス加工事業はハイルブロンとトイプリッツの2ヵ所に集約し、収益が伸びないハイルブロン工場の生産能力を削減する。プラントエンジニアリング事業については、産業機械部品子会社のフィプロをハスマースハイム工場に統合するとしている。

(automobil industrie 2010年3月31日付)

中国：中国一重、5億6500万元の原子炉を受注

中国一重の公告によると、中電投傘下の山東核電公司および江西核電公司と契約を締結し、山東海陽原発所に3、4号機、江西彭沢原発所に1、2号機の原子炉圧力容器を提供するという。受注総額は累計5億6500万元。

契約期間は10～14年。中国一重は山東核電公司と浙江核電公司に対し、それぞれ2台のAP1000型炉圧力容器設備を提供する。この受注により、中国一重は原子炉圧力容器市場における主導的地位とマーケットシェアを固めるとみられる。

(新華社新華網ニュース 5月7日付)

中国：日産自動車、広州で第2工場着工 世界最大の生産拠点に

日産自動車と中国の東風汽車が合併展開する東風汽車有限公司の乗用車部門である東風日産乗用車公司是8日、広州市花都に50億元をかけて建設する第2工場の定礎式を行なった。2012年の稼働を予定している。生産能力は年間24万台を計画し、

第1工場を加えると年産能力は60万台に達し、日産自動車における世界最大の生産拠点となる。

新工場では最新鋭の技術を採用すると同時に、日産自が採る世界標準の生産方式を導入する。省エネ設計・技術により、エネルギー消費能力も世界水準に達する。

式典に出席した広東省政府関係者は、「広州ひいては華南地域の自動車産業の発展においても大きな意義がある」と話した。

(新華社新華網ニュース 5月10日付)

インド：ホンダ・モーターサイクル、ラジャスタン工場建設で州政府と覚書を締結

本田技研工業のインド二輪子会社、ホンダ・モーターサイクル&スクーター・インディア (HMSI) は5月11日、ラジャスタン州アルワル県タプカラ工業地域での工場建設について、州政府と覚書を締結した。同社は約50億ルピーを投じて、タプカラに年産能力60万台の二輪工場を建設する計画。操業開始は2011年後半を予定している。将来的には約60億ルピーを追加投資して年産能力を2倍の120万台に増強することも視野に入れているという。州政府のラジェンドラ・シン工業担当相によるとHMSIの進出に伴って多数の自動車部品メーカーがタプカラ周辺に工場を建設する模様。

(インドビジネスセンター 5月12日付)

インド：三菱重工、インドから超臨界圧ボイラーなど3基を受注

三菱重工業は、インドのマハラシュトラ州電力公社 (MAHAGENCO) 向け超臨界圧石炭焚きボイラーと蒸気タービン発電機各3基を受注した。同社のプレスリリースが5月11日付で報じた。経済成長に伴う地域の電力不足解消のため、MAHAGENCOがマハラシュトラ州コラディに建設する出力各66万キロワットの超臨界圧石炭焚き火力発電所3系列に納入するもので、2013年末より順次運転開始の予定。

今回の受注は、インドの建設・重機最大手ラーセン&トウブロ（L&T）が元請けとなりとりまとめたもの。ボイラーについては、L&Tと同社の合弁会社であるL&T-MHIボイラーが、また、蒸気タービン発電機については、同じく合弁会社であるL&T-MHIタービン・ジェネレーターが担当し、同社はボイラーおよび蒸気タービンの中核部品をそれぞれ

合弁会社へ供給する。発電機の中核部品については三菱電機が担当する。

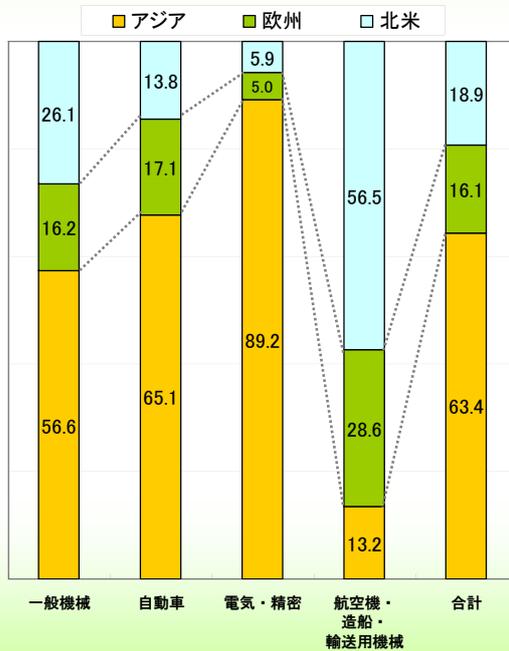
同社は今後も、L&Tおよび同社との合弁会社と共同で、インドにおける高効率の超臨界圧ボイラーや蒸気タービン発電機の受注活動を積極的に展開していくとしている。

（インドビジネスセンター 5月12日付）

5. 日工会外需状況(4月)

4月分の外需

業種別に見た主要3極の構成比



出所: 日本工作機械工業会

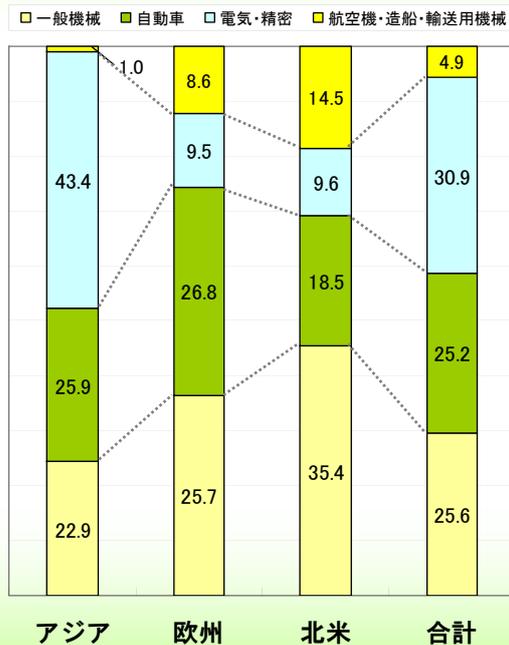
○自動車におけるアジアの割合は6割強と前月(78.0%)から低下を示したものの、電気・精密では9割弱となっており、前月と同様この2業種におけるアジアの占める割合は高くなっている。

○一方、航空機・造船・輸送用機械は北米で航空機に受注の増加が見られ、欧州・北米の占める割合は85.1%と前月(77.0%)から更に拡大した。

○一般機械は、依然としてアジアが半分以上を占めている。

4月分の外需

主要3極別に見た業種別構成比



出所: 日本工作機械工業会

○アジアでは、自動車、電気・精密が7割弱を占めている。一方、航空機・造船・輸送用機械は他業種に比べ、少ないウェイトとなっている。

○欧州は、自動車関連の受注が前月から増加を示した結果、最も高い割合を示している。

○北米は、航空機・造船・輸送用機械の割合が増加を示した。

ウズAMT専務理事コメント(3月分)

3月の受注は、銀行貸出の低迷や政府の製造業への対応等厳しい状況が続いている中、回復の速度が確実に早まっていることを表す数字であった。

受注内需 主要業種構成比の推移

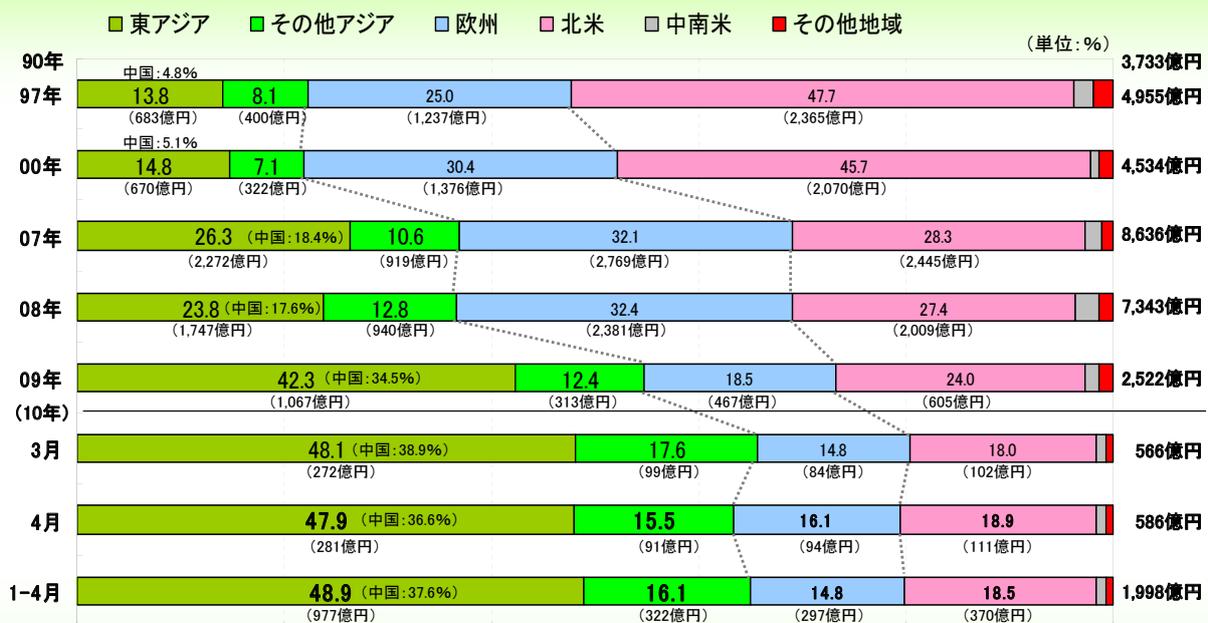


出所: 日本工作機械工業会

4月は、3月に比べ一般機械(+4.6Pt)、電気・精密(+0.3Pt)が増加した一方、自動車(△1.0Pt)が減少を示した。

1-4月累計を09年と比較すると、依然として自動車の割合が高い。

受注外需 地域別構成比の推移



出所: 日本工作機械工業会

4月は、3月に比べ欧州(+1.3Pt)・北米(+0.9Pt)の割合が増加を示した。

1-4月累計を09年と比較すると、アジアの割合が09年よりも拡大している状況が目立っている。

6. お知らせ

JETRO

METALEX 2010

第24回 ASEAN 最大の金属加工機器及び工作機械展示会

ジャパンパビリオン出品のご案内

METALEX は、タイ・バンコクにて開催される金型・金属工作機械、金属加工機械および関連部品を対象とする見本市です。前回の METALEX2009 では会場であるタイ・バンコク国際展示場 (BITEC) の 30,000 平米に、2,700 社が出品し、62,510 名もの来場者が訪れました。

今年もジェトロでは 2009 年に引き続き、ジャパンパビリオンを設置し出品者を募集しますので、是非この機会に出品をご検討下さい。

【見本市概要】

- 会 期：2010 年 11 月 24 日(水)～27 日(土) <4 日間>
- 開催地：タイ・バンコク
- 会 場：Bangkok International Trade and Exhibition Center (BITEC)
- 対象出品物：金型・金属工作機械・金属加工機械・機械工具・切削工具・精密測定機器・
鍛圧機械・超硬工具・研磨材・歯車 他
- 見本市 URL：http://www.metalex.co.th/

【ジャパンパビリオン概要】

- 出品料：1 小間あたり 中小企業向け補助料金 371,000 円、一般料金 556,000 円
- <出品料に含まれるサービス>

- 企業登録費 (一出品者分) →主催者作成の公式ガイドブックに社名を掲載するサービス
- スペース (3m×3m=9 m²)
- 統一デザインによる小間の基本装飾 (社名板、壁、カーペット)
- 備品 (折り畳み椅子 2 脚、インフォメーションカウンター 1 個、40W 蛍光灯 2 個、5 アンペアソケット 1 個)
- 出品者カタログによる広報

※上記サービスの一部をご利用にならない場合でも、同一料金となります。

- 申込締切：2010 年 7 月 9 日(金) 書類必着
- 詳細案内・申込書：<http://www.jetro.go.jp/events/METALEX2010>
- 問合せ先：ジェトロ 海外見本市課 担当：小林 (武)、芹川 (せりかわ)、斉藤
TEL：03-3582-5183 / FAX：03-3505-0450
E-mail：fab99@jetro.go.jp